



市議会議員の

虚礼廃止

北九州市議会は、政治倫理の確立が求められている折、自らの姿勢を正すため、6月定例会において、全議員で、市議会議員の虚礼廃止を決議しました。皆様のご理解をいただきますようお願いします。

- 諸行事に対する祝儀、協賛金、広告、冠婚葬祭に対する儀礼的な祝儀、祝電、弔電、香典、供花等の廃止
- 年賀、暑中見舞の自粛



北九州市議会議員一同

6月定例会の概要

平成元年六月北九州市議会定例会は、六月十五日から二十二日までの八日間の会期で開かれました。市長から提出された議案は、専決処分報告一件、条例四件、その他八件の合計十三件で、審議の結果すべての議案を可決しました。一方、議員から提出された議案は十一件で、政治倫理の確立と虚礼廃止の徹底に関する決議など四件を可決しました。

開かれた市政をめざして

6月定例会

情報公開条例を制定



文書館(小倉北区大手町)

公開の窓口 文書館を設置

6月定例会では、行政機関の公文書を公開するための情報公開条例や文書館条例のほか、国際化とコンベンションの振興を図るための(仮称)北九州国際交流センター建設工事請負契約締結議案などを可決しました。

なお、決まった主なものは次のとおりです。

市長から提出された主なもの

◎条例の制定

○北九州市立文書館条例

歴史的文化的価値を有する文書、記録などを保存し、市民の利用に供するとともに、情報の公開、提供を推進するため、文書館(小倉北区大手町11番5号)を設置

○北九州市情報公開条例

市民の公文書の公開を求める権利を明らかにするとともに、対象文書、請求者の範囲、公開の方法等を定める

◎条例の一部改正

○北九州市市税条例

寄附金控除及び低所得母子家庭に係る割増寡婦控除の創設 など

○北九州市国民健康保険条例

所得税法の一部改正に伴い、国民健康保険料の負担増を調整するため、六十五歳以上の者の公的年金等の所得について、特例措置として十五万円を控除

◎工事請負契約の締結

○(仮称)北九州国際交流センター建設工事

・契約金額 二億三、〇五九万円

○高須中学校一工区建築工事

・契約金額 五億九、六三七万円

◎公有水面埋立て等による土地確認等
公有水面埋立工事により造成された門司区大字白野江及び大字田野浦地先の土地(一〇万七、九四三㎡)を確認し、町及び字の区域に編入

◎はしご付消防自動車の取得
・はしご付消防自動車(三〇m級)一台

・予定金額 九、〇五八万円

◎市有地の処分
若松区響町一丁目103番5に所在する市有地を工場用地として売却

・面積 一、万七、〇〇〇㎡

・予定金額 三億六、八九〇万円

◎専決処分の報告

○北九州市市税条例の一部改正
・個人市民税の均等割及び所得割の非課税限度額の算定基礎額三三万円(現行三二万円)

・軽自動車税の特例税率の創設(平成元年度、二年度分のみ)
営業用二、九〇〇円(原則三、〇〇〇円)
自家用三、六〇〇円(原則四、〇〇〇円)など

人事紹介

六月定例会において、次のかたがたの選任または推薦に同意しました。(敬称略)

監査委員 奥本 勇雄

人権擁護委員候補者

木部 守 高田 正

請願・陳情審査結果(採択されたもの)

請願第11号 高齢者福祉の拡充について(うち下記の事項)
・緊急通報システムを早急に実施すること
・寝たきり老人のための短期保護施策を拡充すること

審議日程

6/15	(開会) 本会議	議案上程、提案理由説明、質疑、委員会付託
16.19	本会議	一般質問
20	常任委員会	議案審査
21	常任委員会	議案審査
22	本会議	請願・陳情審査 常任委員長報告、修正案説明、採決 議員提出議案上程、提案理由説明、討論、採決 請願・陳情採決
	(閉会)	

議員提出議案(可決されたもの)

意見書	<ul style="list-style-type: none"> たばこに関する施策の速やかな実施を求める意見書 たばこ事業等審議会の答申に基づき、たばこ広告の規制強化等実効ある措置を速やかに実施するよう要請するもの リクルート疑獄の徹底究明と衆議院解散・総選挙を求める意見書 消費税の見直しを求める意見書 <p>※これらの意見書は、内閣総理大臣など関係行政庁に送付します。</p>
決議	<ul style="list-style-type: none"> 政治倫理の確立と虚礼廃止の徹底に関する決議(要旨) リクルート事件を契機として、国民の政治に対する不信感がかつてない高まりをみせている。このことは地方政治に携わる議員自らの教訓として、厳粛に受け止めている。 私たち市議会議員は、この際、改めて、自らの姿勢を正し、市民の不信と疑惑を招くことのないよう、諸行事に対する祝儀、協賛金、広告、冠婚葬祭に対する儀礼的な祝電、祝儀、甲電、香典、供花等禁止事項の厳守、年賀、暑中見舞の自粛など虚礼廃止を決意し、市民の理解を求めるものである。

質 応 答



本会議で11人の議員が、議案や市政全般について、質問を行いました。その中からいくつかをとりあげました。

公文書を市民に公開

—情報公開条例—

議員 今回、情報公開条例が提案されていますが、制定の趣旨についてお尋ねします。

なお、市民が主権者として市政に参加するためには、市の機関が保有する情報を自由に知ることができるよう、権利として保障されなければなりません。条例に、「知る権利の保障」を明記すべきではありませんか。また、公開の対象となる公文書や公開を請求できる人の範囲はどのようになっていますか。

市長 本市の情報公開制度については、市情報公開問題懇話会において、制度のあり方について検討が行われてきましたが、昭和六十一年に懇話会から提言をいただきました。

今回の条例案は、この提言の内容を踏まえ作成したものです。

総務局長 この条例は、行政情報を広く市民に公開することにより、行政をより一層開かれたものとし、市民の市政への参加を促し、市政に対する市民の理解と信頼を確保することを目的に制定するものです。なお、知る権利については、その意義や評価に諸説があり、必ずしも明確な概念となっていないことから、知る権利は明記していません。

公開の対象となる情報は、実施機関の職員が職務上作成し、又は取得した公文書で、決裁その他公的処理を完了し、実施機関が管理しているものです。

また、公開を請求できる人は、市民のほか、市内への通勤・通学者、市政に利害関係のある者にまで範囲を広げています。

文書館を窓口

議員 情報公開の請求窓口は、今回設置される文書館が総合的窓口と聞いていますが、区役所でも受付けてはいかがですか。

総務局長 窓口業務には、請求書の受け付けや情報公開に関する相談、文書の検索など一連の事務があり、情報公開制度の公正かつ円滑な執行を図るうえから、統一的な運用が必要で、そこで、文書館を総合窓口として一元的に処理することになっています。

今年度末の都市計画決定を目標に

—黒崎バイパス—

議員 黒崎バイパスの建設については、今春のプリンスホテルの開業、更には、来春オープン予定のスペースワールドなどにより、その必要性が一層増大しています。バイパスの事業化への進捗状況や今後の見通しについてお尋ねします。



市長 黒崎バイパスについては、昭和六十三年から建設省と市で本格的な調査を行っております。

住宅建設計画を繰り上げ

—久岐の浜ニュータウン—

議員 若松区久岐の浜ニュータウンの住宅分譲は、希望者が多く大変好評であったと聞いています。

市長 ニュータウンでは、昭和六十三年度に市営住宅百四十戸、公団分譲住宅二十八戸が建設され、その応募状況は予想以上に好評でした。

そこで、平成元年度は市営住宅七十戸の建設を繰り上げるとともに、公団の分譲住宅も、一棟二十戸の当初計画を変更し、二棟四十五戸に増やす予定です。



り、平成元年度には、周辺土地利用計画との整合を図りながら、ルートや構造の検討及び環境アセスメントを実施します。

このバイパスは、延長が約6kmで、一部は一般住宅を通るのと、更に、国、県、JR等多くの関係機関との調整など、重要な問題が残されています。

今後、黒崎バイパス建設促進期成会とも連携をとりながら、関係者の理解と協力が得られるよう努めてまいります。

当面、平成元年度末の都市計画決定を目標に、現在、鋭意努力を重ねているところです。

ニュータウン建設事業は、地域活性化を目指したプロジェクトでもあり、住宅需要を把握しながら、早期完成に向け、積極的に取り組んでいく考えです。

ボランティアの育成策は

議員 ルネッサンス構想を実現するには、市民の参加・協力が必要で、なかでも、ボランティアの役割は大変大きいと考えます。ボランティア活動の振興、育成策についてお尋ねします。

また、寝たきり老人の看護などに、女性ボランティアに活動してもらってはいかがでしょうか。

民生局長 ボランティア活動を推進するため、本年度からボランティアの町づくり事業（通称ボランティア事業）に着手したところです。ボランティア活動に関する市民啓発、ボランティアセンター整備等の事業を総合的に実施し、ボランティア意識の高揚、福祉の風土づくりを進めていきます。

また、年長者施策を推進するうえで、女性ボランティアに期待する部分は多いと考えます。講座や研修会を開催し、その育成に努めるとともに、活動拠点として、婦人センター等の体制づくりに努めていく考えです。

校内暴力の防止対策は

議員 昭和六十三年度における市内中学校の校内暴力事件発生件数は、百七十八件で、前年より七件増加しています。

市は、この現状をどのように認識し、対処する考えですか。教育長 校内暴力の原因や背景については、学校、家庭、社

⑦ 会議録

本会議での議員の質問や市長の答弁など、会議の状況を詳しく記録したものです。会議録は、中央図書館や各区の市立図書館にも備えられており、市民の皆さんは、閲覧することができます。

会が複雑に絡んでいます。

家庭における過保護、放任など家庭教育の機能の低下に加え、社会では、享乐的な傾向あるいは社会的規範を軽視する状況が見られます。また、学校においても、教師間の一致した指導体制が十分でない場合もあります。校内暴力や登校拒否などの問題を解決するには、学校、家庭、社会の十分な連携が極めて重要です。

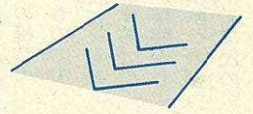
特に、学校においては、全教職員による生徒指導体制を整え、すべての教育活動に積極的に取り組む必要があります。

教育委員会としても、教職員の資質向上のための研修の充実や生徒相互間、生徒教師間の暖かな人間関係づくりとして、ふれあい合宿を行うなど、今後とも問題解決に最大努力をしていきます。





現空港の定期便再開と新空港建設



議員 現空港再開に伴う騒音対策の一環として、空港周辺地区代表者による騒音比較調査が行われましたが、騒音に対する住民の理解は深まったのですか。

また、現空港再開のための工事着工の見通しはどうですか。

一方、新空港建設に向けて関

係漁協との漁業補償交渉が進められていますが、現在どのような状況になっていますか。

市長 現空港の再開については、一日も早く工事に着手し開港できるように、関係機関に働きかけているところです。

また、新空港建設は、市政の最重要課題の一つであり、新門司沖土砂処分場建設に係る漁業補償交渉の早期妥結のため、強力に支援していく考えです。

企画局長 さる五月、大阪空港において、現空港での定期便として予定されているMD-11七型機と以前現空港で就航して

いたYS-11型機の騒音調査を行いました。離着陸に違いはあるものの、騒音はほぼ同じ程度であるという、これまでの市の説明について参加者の理解は得られたものと考えています。

なお、現空港の整備については、今後、航空法に基づく手続きを経て、八月にも滑走路の工事に着手すると聞いています。

一方、新空港建設に伴う漁業補償交渉については、年度内の妥結に向け、現在、運輸省第四港湾建設局と関係漁協の間で交渉の内容や進め方等具体的な協議が行われているところです。

市は、漁業補償交渉の早期解決のため、生産基盤環境整備など漁業振興策について、県等関係機関と協議を進めています。

年長者の在宅福祉充実へ

―有料ホームヘルパー派遣事業―

議員 今年度から、痴呆性や寝たきり年長者の在宅福祉施策として、有料ホームヘルパー派遣事業がスタートします。

この事業の内容と今後の取り組みについてお尋ねします。

民生局長 近年、核家族化、女性の社会進出などに伴い、年長者の身の回りの世話をするホームヘルパーの派遣を求めることが大幅に増加しています。

そこで、本年から新たに、有料のホームヘルパー制度を導入することにし、十月開始を目標に準備を進めています。

この事業の運営機関として、(仮称)北九州市ホームヘルプ協会を設置し、ホームヘルパーには、家庭の主婦等を広く活用していく考えです。



サービスの内容は、食事、排泄等の介護援助、調理、掃除、洗濯等の家事援助、介護に関する相談助言で、原則として、一日三時間、一週二日間を予定しています。

なお、利用料は、厚生省の基準に基づき、一時間当たり最低二百円、最高六百五十円にする考えです。

現在の状況は

―白島石油備蓄基地―

議員 白島石油備蓄基地は、昭和六十二年に被災して以来、建設工事が中断されています。現在どのような状況になっていますか。

また、工事再開について、市の考えをお尋ねします。

市長 現在、石油公園の専門委員会において、現地視察や水理模型実験などを実施し、安全性の確保について、様々な検討が、慎重に行われています。

市としては、委員会の結論が決まり次第、安全性の確保を大前提に、速やかに工事が再開できるように、国や関係機関に要望していきたくと考えています。

シルバー人材センターの利用状況は

議員 シルバー人材センターがこの四月に開設されました。運営状況をみると、仕事の内容は草刈り、庭木のせん定等と業種が一部に限られています。会員の豊かな知識、経験、技能を生かすため、専門技術・技能や事務分野での仕事のあっせん確保についてどのように考えていますか。

また、各地域に雇用のばらつきがみられますが、雇用機会の均等を図るためどのように取り組むのですか。

民生局長 センターが受注する仕事で、専門技術や事務部門の仕事が少ないのは全国的な傾向です。

会員には、高度な知識や豊かな経験を持った方も多く、企業等に、会員のセールスポイントを積極的に売り込みたいと思います。

なお、技能分野での仕事の受注量は多いものの、対応できる会員が少ないため、技能修得のための研修などに取り組む必要があると考えています。

受注量のばらつきについては、わずか二か月間の状況だけでは判断できませんが、今後、職種別、地域別にバランスのとれた仕事の配分ができるよう、受注の拡大に努めたいと思います。



委員会すぽぽと



市議会には、市政に関し、特に重要な事柄について調査、研究をするため、六つの特別委員会を設置しています。(前号に掲載)今回から順次紹介します。

大都市税財政制度 確立特別委員会

この委員会は、十人の議員で構成され、調査研究事項は、

- ①大都市税財政制度の確立
- ②高度情報化の推進
- ③市のイメージアップです。

このうち、高度情報化の推進については、モデル都市と



して国の指定を受けているテレポートピア、インテリジェントシティ、ハイビジョンシティの推進について調査を行います。

また、現在市が取り組んでいるイメージアップ事業(市の知名度、イメージの向上、市役所の活性化など)のあり方についても調査、研究を行っていきます。

中学校も完全給食を 実施しては

議員 旺盛な発育期にある中学生に対し、栄養のバランスのとれた学校給食を実施することは、健康の増進や体位の向上を図るうえで、大きな効果があると思います。

本市も、中学校の完全給食を実施してはいいかがですか。



教育長 中学生になると、心身の発達に伴う個人差が著しく、嗜好の固定化、男女の食事量の

相違が目立ち、食事内容や給食指導面で多くの問題があります。また、学校の受入れ、物資購入体制の整備や施設整備に係る財政負担など、完全給食の実施には困難な課題を抱えています。

一方、現行の弁当持参方式は、親子のふれあいを深め、子供の健全育成につながるものと考えています。

以上のことからみて、中学校の完全給食の実施は極めて困難であり、現行のミルク給食を継続していきたくと考えています。